

2021年9月10日

アセットマネジメントOne株式会社

運用資産ネットゼロ達成に向けた中間目標の設定について

- Net Zero Asset Managers initiative における 2030 年中間目標-

アセットマネジメントOne株式会社（東京都千代田区、取締役社長 菅野 晓、以下「AM-One」）は、2050年もしくはそれ以前までに温室効果ガス（以下、「GHG」）排出量のネットゼロ達成に向けて運用する資産について、2030年時点における中間目標を当社運用資産（2021年3月末時点）の53%、30兆円に設定いたしました。

AM-Oneは、GHG排出量のネットゼロを目指す、グローバルの資産運用会社によるイニシアティブ「Net Zero Asset Managers initiative（以下「NZAM」）」に、2020年12月11日の発足時から参加しました。また、NZAMのステアリング・コミッティーから諮詢される6社から成る「アドバイザリー・グループ」の一員としてアジアから唯一参画し、運営をサポートしています。今回設定した中間目標は、NZAMの枠組みに沿ったものとなります。

当初30社だったNZAM加盟企業は、発足から7か月後の2021年7月の段階では128社に増え、その運用資産（AUM）合計は約43兆ドル（グローバルにおけるAUMの40%超）を占めるまでに増えており、資産運用業界におけるネットゼロに向けた取組みは急速に拡大しております。

NZAMの主なコミットメントは以下の通りです。

- ・地球温暖化を1.5℃に抑えるための世界的な取組み（2050年もしくはそれ以前のネットゼロ）に沿って、2050年までにGHG排出量をネットゼロにするという目標への貢献にコミットする。また、2050年もしくはそれ以前に投資をネットゼロに整合させることへの貢献にコミットする。
- ・すべての運用資産（AUM）において、2050年もしくはそれ以前までにネットゼロを達成するという目標に沿って、脱炭素化に向けてアセットオーナーである顧客と協働する。
- ・2050年もしくはそれ以前までにネットゼロ達成に向けて運用する資産の割合の中間目標を設定する。
- ・資産の100%をカバーするまで中間目標のAUMの割合を段階的に引き上げることを目指して、その中間目標を少なくとも5年ごとにレビューする。

AM-Oneは、2030年の中間目標として、AUM（2021年3月末時点：57兆円）の53%、30兆円についてネットゼロシナリオに沿うものとすることを目指していきます。これは極めて野心的な目標ではあります BUT、ネットゼロ実現に向けてこの達成にしっかりと取り組んでまいります。

気候変動は、グローバルに喫緊の対応が必要、かつ他の様々な環境・社会課題にも関連する大きな問題です。各国政府、事業会社、消費者をはじめ、様々なステークホルダーが協力して解決する必要があります。AM-Oneは資産運用会社として、インベストメントチェーンのすべての皆様と協力させていただきながら社会のネットゼロへの移行を後押しするため、以下の3点について取り組んでまいります。

1点目は、AM-Oneの持つポートフォリオのうち、ネットゼロを達成するシナリオに沿う資産をより増やしていくため、より多くのお客さまに支持されるような活動をすることです。これには、アクティブファンドのみならず、パッシブファンドも含みます。

例として、気候変動をはじめ、社会の存立にとって重要なESG課題を明示し、その課題に積極的に取り組むことで企業価値を高める企業に投資を行うアクティブファンドを立ち上げ、ネットゼロに向けた資金供給を促進します。パッシブファンドでは、単にインデックスに連動させる運用を行うだけでなく、ネットゼロに向けたエンゲージメント（建設的な対話）等を行うことを明確化したファンドを設定する取り組みなどにより市場全体をネットゼロの方向へ動かしていくことを目指してまいります。

2点目は、これまでに行ってきたスチュワードシップ活動における投資先とのエンゲージメントにおいて、投資先企業が脱炭素に向けたビジネスモデルの転換を実現できるよう、より積極的に後押ししていくことです。

投資先企業へのエンゲージメントでは、社会全体・市場全体でネットゼロへ向かっていくという観点から、取組みの進まない企業を簡単にダイベストメントするのではなく、継続的にエンゲージメントを行い改善を働きかけていくことを優先します。度重なるエンゲージメントにかかりわらず取組みの進まない場合には、該当企業の取締役選任議案への反対を検討します。

3点目は、政府や関係諸機関とも連携し、2050年ネットゼロ達成に向けた様々な取組みを強化することです。AM-Oneは、TCFDコンソーシアムや、経産省・環境省の気候変動や環境関連の検討会の委員などを務めており、そのような場を通じて、インベストメントチェーン全体での取組みを進めるためのサポートを継続してまいります。

AM-One は、今後もお客さま、投資先企業、政府や関係諸機関、そして世界の資産運用会社と連携し、社会全体で解決に向けて進むために行動することで、未来に貢献する資産運用会社を目指してまいります。

以上

【アセットマネジメントOneについて】

アセットマネジメントOne株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約57兆円と国内有数の規模を誇ります。

統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

H P : <http://www.am-one.co.jp/> ※運用資産残高は2021年3月末時点。

商 号 等／アセットマネジメントOne株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号

加入協会／一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会